

**金が難題か**

金が難題かは、昔からの常識で、今更なら繰り返して述べる程のものでないが、大戦後物価が上昇し、飼育問題が紛糾して更に強敵たる病魔が周囲を襲ひ来る限りは、到底止する所なき。昨今に於ては、取別け金が難題の嘆聲をヨリ強く發せざるを得ないやうである。

金は固より貴いものである、金さえも、衣食住思ふに任せぬものが居ない。聖市で云ふならばアベニーダ・パウリスタ邊に天を擧げるが如きの大廈高樓を建て、寒暑冷熱を意のままに征服して豪奢を極むる者、又マタラグの如く伯爵を金で買ふも易々たりだが、金は必ずしも人生幸福の代表物でないことは實に難いものである。金さへあれば馬鹿者も憐れみ見へ、無理も道理を壓して通うこともある。其處で世には不立役者程金を欲しがる傾向が出來、慾の煩惱から殺人、強盗、窃盜、詐欺、横領、脅喝、收賄などの罪悪行はるゝが、金も爰で至るに至ると貴重の程度を超へて汚穢となり、災禍となり、金故に身を殺し、金故に家を滅ぼす、謂ゆる金が難題となるのである。

伯國に在る我同胞の中にも稼ぎも爰で金を儲けんとか、樂してヨリ多く金を儲けんとか、一六勝負で一躍成金に成濟まさか、明かに判り居るにも拘はらず、金を欲しがつて、金の爲めに覆没する利亡者である。又はと少しく事情を異にするが、

# 伯國新聞

**NOTÍCIAS DO BRAZIL**  
Publicado semanalmente  
Rua Fagundes N. 16  
Caixa Postal H  
Tele. Central, 5505  
S. Paulo, Brazil  
Proprietário e editor  
Seisaku Kuroishi  
Assinaturas  
por Anno 16\$000  
Semestre 8\$000  
Mez 1500  
Semana \$500

## 華盛頓會議觀感

(承前)  
華盛頓會議は陽氣なもの。

華盛頓會議は陽氣のもの。

華盛頓會議は陽氣の

◆ボーラー氏演説  
◆外電一東

華僑電報は曰く上院議員ボーラー氏は前週上院に於いて聯合國の北米に対する負債償却に關し演説して若し聯合國にしてよくベルサイユ條約を審議し相當程度にまで軍備を縮小せば外債額をも減少し得べし。

◆日本の輸出減退  
◆日本の輸出減退

日本の引き續く輸出貿易不振減退は、實業界をして益々憂慮せしめ殊に綿織物その他重要輸出物の減退著し、最大原因は労働賃銀の上騰にあり、されど諸國では物價下落しきつ、あるに獨り日本のみその傾向現はれすと東京電報。

◆墨、グ戦争説

グラマラ首府よりの通信はメキシコとの開戦は避けべからざるものとしてゐる駐墨グラマラ公使は本国政府の命に依り同地を引き揚げ、グラマラ軍隊は墨國境に集中され、侵入の用意なつたとガレス電報は傳へたがリオ副駕墨國公使は極力否認してゐる。

◆ゼノバ會議ご北美

華府へラード通信員の報によるゼノバ財政會議に北米の參加可否問題が目下北米の懸案になつてゐるが政府は駐英大使の報告意見を待つて決定する筈であるが駐英大使は参加費を認めないと信せらる一方、英、國外務省は同會議の問題は完全歐洲問題なので北米の對度如何に關せず開催せらるべき者だとしてゐると(紐育電報)。

新金鑄			
澤洲の鑄主等はシンヂケートを組織して最近南阿に發見された新金鑄を			
大規模採掘にかかる目的だと(ロンドン電報)			
品名	品名	品名	品名
五年 一千袋	五年 一千袋	五年 一千袋	五年 一千袋
二、數量	一、數量	三、量	三、量
一九一九年 五百九十六袋	一九二〇年 五百八十一袋	一九二一年 五百五十九袋	一九二二年 五百四十九袋

◆伯國輸出貿易消長  
◆伯國輸出貿易消長

三年間各一月乃至十一月の期間に於ける外國輸出貿易の動脈左の如し

伯國果物輸出狀態			
通商統計局發表の統計に據れば昨年一二年一月乃至十一月の果實輸出量は三萬六千七十噸で前年に比して稍々劣るが之を前數年間の平均と比較するが之を表示すれば			
一九一二年一月乃至十一月の果實輸出量は三萬六千七十噸で前年に比して相々劣るが之を前數年間の平均と比較するが之を表示すれば			
一九一二年一月乃至十一月の果實輸出量は三萬六千七十噸で前年に比して相々劣るが之を前數年間の平均と比較するが之を表示すれば			
以上の中當り平均價格は	以上の中當り平均價格は	以上の中當り平均價格は	以上の中當り平均價格は
一九一三年 二五七四三噸 八四	一九一八年 二二九三一噸 一〇五	一九二〇年 二二三一三噸 一四二	一九二一年 二二三一三噸 一一四
一九一四年 二五九五三噸 一九一	一九一九年 一九〇九五三噸 一九二	一九二〇年 三八四九九三噸 四〇三五	一九二一年 三八四九九三噸 四〇三五
一九一五年 二五九五三噸 一九一	一九二〇年 一九〇九五三噸 一九二	一九二〇年 三八四九九三噸 四〇三五	一九二一年 三八四九九三噸 四〇三五

國庫正金有高	
一月末日主計局長より大藏大臣へ申告したる決算によれば正金の國庫現在高は次の如し	
第一位はバラグワイ國で第三位はアーレンツ國が古め北米は十一位に	
第二位はパラグワイ國で第三位はアーレンツ國が古め北米は十一位に	
第三位はバーリングニア國で第四位はアーレンツ國が古め北米は十一位に	

人口百人に對し僅か三頭の牛を有する比に過ぎない。

●人口と飼養牛數

國庫正金有高	
一月末日主計局長より大藏大臣へ申告したる決算によれば正金の國庫現在高は次の如し	
第一はバーリングニア國で第三位はアーレンツ國が古め北米は十一位に	
第二はパラグワイ國で第三位はアーレンツ國が古め北米は十一位に	
第三はバーリングニア國で第四位はアーレンツ國が古め北米は十一位に	

●十把一東

●十把一東

契約

一、請負者は六年又は四年の契約を爲す事、六年契約者は契約満期の際無償にて其の栽培珈琲樹を耕主へ引渡す事、四年契約者は契約満期珈琲樹を耕主へ引渡す事、耕主は處女林を提供する事、伐木、植付、家屋建設等の費用は請負者が負擔する事、耕主は請負者に對し前金又は前貸等一切爲さる事。

告白

一、地質 豊穰なる處女林、石混せず、霜害の憂な良地一千七百アルケーレスを有す。

●海外興業株會社伯國支店

●海外興業株會社伯國支店

四年又は六年の  
珈琲栽培者募集

五十萬本の珈琲樹を有し、珈琲、米、棉花、フバ等製工諸機械の完備せるモント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

一、位置 ソロカバナ線シャバンテス驛より十一キロの地點にて完備せるモント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二、全なる一馬車道と自動車道があり、町は耕地の左右に一つ宛ある最も便利な所なり。

三、渡す事

四、地質 豊穰なる處女林、石混せず、霜害の憂な良地一千七百アルケーレスを有す。

五、耕主は處女林を提供する事、伐木、植付、家屋建設等の費用は請負者が負擔する事、耕主は請負者に對し前金又は前貸等一切爲さる事。

六、位置 同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

七、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

八、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

九、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

十、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

十一、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

十二、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

十三、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

十四、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

十五、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

十六、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

十七、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

十八、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

十九、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二十、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二十一、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二十二、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二十三、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二十四、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二十五、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二十六、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二十七、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二十八、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

二十九、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十一、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十二、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十三、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十四、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十五、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十六、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十七、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十八、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

三十九、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十一、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十二、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十三、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十四、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十五、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十六、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十七、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十八、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

四十九、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

五十、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

五十一、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

五十二、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

五十三、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

五十四、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

五十五、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

五十六、同モント、クラーク耕地に於て左記の條件の下に珈琲栽培者を募集す。

## ●伯刺西爾曠原の探險

米國 テラドル、ルーズベルト著

日本

### 第九章

不明の川を赤道  
森林に突破し降る

(十五)

四月十五日以後の一行は、只悲惨と云ふの外なかりしも、今日より云ふの外なかりき、然るに今日より云ふの外なかりしも、森林に突破し降る。此日二時間半は赤字日。(舊曆は祭日又は吉日を赤字にて記入する故斯く稱す)となり、已に前日ゴム採集者により切開されたる所を通過し、此に二十五キロメートルを突破したる所にT、Aと記されたる柱を見たり、人間聖地に新しく建てられたる家に會せり、満心の笑は此時に漏されたり、柳子建の家に人なきも清潔にして涼しかりし、採集者の到着せる最終點なるべし、少供や男女の居りし氣配あり、更に一時間程遡れる所にて年老ひたる黒人の親切相な男の居れる家ありき、位置は十度二十四分。

正午頃又もや柳子建の家に會せらる余等一行をインチャ人の襲來と誤り皆逃げ去れるものゝ如し、蓋し未知の上流よりは未だ曾て人間の來りし事あらざるを以てなり、間もなく彼等は歸り來りて親切に種々と語れり此夜其處に宿れり、アントニオ、コレア、ケルミットに語りて曰く『實に森林中の急流と事かはり、家を見つかり來りて親切に種々と語れり又男女の聲を聞く事は夢の如し』と、此川は彼等はカステニオ川と稱し、アリバ、アナン川の寧ろ西方にある大支流にして、カヌニオ川とは只採集者間の名稱に過ぎず、地理學者は全く不明なり、察するに一行は此の合流點より尚十五日行程の距離にあるものゝ如し沿岸所々にゴム採取者居り、成者は定着者なり、吾人は實に四十八日間に未知の地を三百キロメートル突破せり、二回インの上流にあると思ひせる川が地理學上その存在を認められざりしこ十七世紀の中頃まで四百年間の『お

## 八重山島に遺る可愛らしい童謡

(上)

『七月様幾つの原歌

◇琉球にある天體讚美の歌◆

▲童謡の起源はいつの頃かは判りませんが、随分古いものと思はれます

同様だが、あの空に輝くお月様を仰いでは『お月様いくつ十三七つ』

琉球人が遺した貴い精神的の産物であります。それに元來は詩歌と云ふ

AFFONSO RIOS  
 Praça da Repubica, 62 Sob.  
 Caixa, 454 Tel. 2293  
 SANTOS

ボイノ入用

右至急入用希望者には左記へ問合せ又は來談ありたし

セントス港に於て日本其他外國から來た荷物の通關手續に最も永い経験を有し最も廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す

セントス港に於て日本其他外國から來た荷物の通關手續に最も永い経験を有し最

セントス





『父がいろ／＼御厄介になりまして、此頃は仕事が済むと必ず家へ歸ります。』酒も止めて一生懸命に働くのであります。母も喜んで居ます。私も大變嬉しいです。夕食の時などいつも母は寝る時にも東京の方へ足を向けてもつたないと言つて居ります。これから私の一家は幸福になるのです。厚く御禮申上げます。』

『此奴が俺を眞人間にいて呉れた』『此奴が俺を眞人間にいて呉れた』『此奴が俺を眞人間にいて呉れた』『此奴が俺を眞人間にいて呉れた』

繁榮の一世纪に膨大したサンパウロ市 ◇……夢のやうな進歩の時

今から三百六十八年前の一月廿五日に創設せられた當時はさて置いて、百年前の一八二二年その年にはドンペドロ王が、イビランガの一角に立て獨立か死かと叫んだ光榮ある活劇の幕を切つて落した當時を顧みて今日の繁榮を思ふなら誰も驚歎の眼をみはらぬものはあるまい。

▲兎に角當時は既に創設後二百六十八年から経てゐたので小さいながら町の形は成してゐた、見當なしに街がつけられてそれは一般に坂道のそして不規則な石で凸凹に敷かれてあつた、そして路幅はラジルの他の地方のものより廣かつたので徒步の者にも騎馬の人にも驅馬隊にも都合がよかつた、家は低く木造で厚壁の白く塗て中には二階建もあつた、寺は到る處に薄黒く陰氣な影を浮べてスク――突立つてゐた、公園は澤山あつたが皆貧弱なものだつた今日のブラツサ、レブブリカは闘牛の原と呼れて闘牛の見世物がかゝつてゐた。▲此の當時の人口は二萬五千五百十三名を數へてその中一萬二千五百八十四名は白人五千二百四十九人は黒人七千七百二十人は薄墨色であつた。十年と過ぎて一八三二年には二萬五千九十五人に減少してその中の四分の一は奴隸であつた、此の人口の減少は數次の天然痘の大流行が原因したのである、一八三四四年には一千七百八戸の家屋があり、三十三の町と大通三と九横町と五坂があつたに過ぎなかつた。

▲その後四十年遅々として進歩しなかつた一八七二年の人口は二萬三千二百四十三を數へ翌七年には千九百八十七戸の家屋を有し六十六街、十一横町、十三大通り、五坂と路を有してゐた、一八七五年以後急速に進歩して一八八六年には人口は四萬四千三十人、家屋七千十二戸に上つた、一八九〇年の人口は六萬四千九百三十四人、家屋一萬十二戸となつた。

伯國女流飛行家に  
伯國最初のそして聖州の女流  
テレザ、デ、マリ娘の爲め  
購入提供の爲め聖市エスター  
及びサントスのトリップナ紙は  
タイン号リンブルジア號及び  
ミル三等三百二十ミルレース  
丸にて八百八十四名あり  
られた

西亞十五萬ルブル、五萬ループル、  
五尺)の布が十五套が六百萬ルー  
ル、人馬の替りに印度人に任して  
印度へ寄つた北へ

記念會參加出品申込受付期  
限延長の夫人は一時癒りかけた病  
物の受付は五月三十一日迄  
條件で、尚ほ同會規定第三十  
過餘り歩かずしからずと  
期された

内閣總辭職

國内閣總辭職は、與社會民主黨との絶縁  
した事はなかつた、各兵  
ノミ首相は二日上下兩院に  
れど、萬一の場合救護の爲  
職を告げ更にマノエル皇  
まで總辭表を捧呈せり  
つた。損害も所の城が崩  
壊して無事ケープタウンに  
と電報のあつた大阪商船の  
は其後の電信に依れば來  
口さがない、伊万里は詔つて曰  
みまかり地が搖るゝ……。  
定なりのこと

カゴ丸の入港は

一百年祭葉報 ▼▲

<p>本公司事務員たりし與那嶺仁五郎 氏は今回都合に依り退職仕り候間題 此段サントス、ジユキヤ、リオリーナ ベーラ附近及び一般日本人諸君に 謹告仕り候 尙ほ今後本商會に對する勘定其他 一切の取引は本商會直接に願上候 大正十一年一月三日</p>
<p>謹 告</p>
<p>瀬木商店</p>
<p>Rua C. de Sáenzedas, 49 S. Paulo</p>
<p>希望者は左記へ來談あ りたし</p>
<p>人寫眞帖</p>
<p>田稠氏著<small>菊二倍版大定價金五十ミル 二百五十頁 送料金二ミル</small></p>
<p>獨逸製</p>
<p>精米所</p>
<p>モントネグロ商會</p>
<p>ヤールマン商會</p>
<p>Rua General Camara, 499 SANTOS</p>
<p>最上等 販賣致します</p>
<p>カタシヅバ市</p>
<p>物部商會</p>
<p>墨痕 淋滴</p>
<p>體本堅牢 製本官の題字</p>
<p>巡</p>
<p>背皮菊版 寫眞五百餘頁 四百二十頁</p>
<p>田稠氏著定價金二十五ミルレース 送料金一ミルレース</p>
<p>八十日間の旅行の所見、所聞、所感を氏 へ方に從ひ流暢平易なる文章を以て記述 我が移植民問題の爲めに多年血と涙と汗 所信は書中に躍動す</p>
<p>田稠氏著定價金二十五ミルレース 送料金一ミルレース</p>
<p>御買上願上候</p>

